

はじめに、1月1日に発生しました能登半島地震において、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。昨年から年始にかけても私たちの予想をはるかに超える出来事が次々と起こりうる世の中となっております。災害などの緊急事態に際し、損害を最小限に抑え、事業の継続や早期復旧を図る事は非常に重要で、BCP(事業継続計画)の策定が義務化されたからというだけではなく、私たちも有事に備え、単なる防災対策ではない、事業を継続するための行動指針を持たなければいけないという事を痛感しております。

さて、相談支援事業所ぱいろっとも皆様のお力添えをいただき、児・者合わせて150名以上の方の担当をさせていただいております。これもひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。それと同時に、赤穂市より委託を受けて、障害支援区分認定調査員のお仕事もさせていただいております。今回は「障害支援区分認定」について少しお話しさせていただきます。

障害支援区分認定調査とは、障害支援区分の判定等の為、認定調査員が申請のあったご本人及び保護者の方等と面談し、知的・精神・身体障害及び難病等対象者共通の調査項目について認定調査を行う事を言います。どこに住んでいても平等に公平に福祉サービスを利用出来るようにするための指標となります。非該当から区分6までの7段階に分けられており、数字が大きくなる程支援が必要という事になります。調査員の調査票と医師の意見書による1次判定(コンピューター判定)と調査員の特記事項と医師の意見書による2次判定(市町村審査会)により区分が決まる事になります。障害支援区分によって利用出来る福祉サービスが決まってきますので、質問の仕方や言葉遣いなど調査員として気を付けなければいけない事も多くなります。それと同時に、申請者やご家族が現状をいかに正確に細かく伝えていただけるかも重要となります。そうする事でご本人に合った福祉サービスを利用する事が可能になり、充実した毎日が過ごせると考えています。

これからも皆様に寄り添い、少しでもお役に立てるようにしていきたいと思っています。



編集後記 昨年5月より各事業所では、今までのような楽しい活動が再開され、利用者様の楽しい笑顔が見られるようになったことでしょう。大変嬉しく思います。今年も笑顔いっぱいの一年になりますように。
文責：津浦

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

平素は緑樹福祉会にご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここ数年新型コロナウイルス感染症に多くの方が苦しみ、やっと5類に引き下げられ少しずつではありますが日常が戻ってまいりました。

これから新たな年を迎えようと私なりに凜然と、心と目を閉じた矢先に災害のニュースが飛び込んで参りました。半月を超えた今でも被害の全容は見えておりません。能登半島地震の被災者のみなさまにお見舞いを申し上げるとともに一日も早く穏やかな日々を取り戻すことが出来ますよう心より願っております。

この度の能登半島地震の報道を見させていただき、多くの課題が見えて参りました。緑樹福祉会の各事業所においては、「BCP」作成が大詰めを迎えております。この度の災害を教訓に緊急事態発生した場合の迅速な復旧、事業継続を行うためのより細かい体制、手順を作成してまいります。

暗いニュースが先行いたしました。この一年を活気に満ちた年となるお知らせがございます。まず、昨年12月1日に「居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援」をさせていただき事業所「ヘルパーステーション バディ」が開所いたしました。

そしてあと1件は平成20年より市から貸与させていただき事業を行って参ります「わかば園」の建物(旧赤穂市大津保育所)を昨年12月に赤穂市議会を通じて譲渡していただきました。利用者様、役員、職員、家族会会員に代わり市民のみなさまにこの場を借りて深く感謝申し上げます。

これからもより福祉の推進に向け精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

本年も皆さまがご健勝でご多幸でありますよう心よりお祈り申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。

昨年12月1日開所いたしました「ヘルパーステーション バディ」の管理者を任命された吉川と申します。

障害のため望む生き方をあきらめることなく、少しでも多くの経験をし、より豊かな人生を送っていただきたいと切に願って開所いたしました。

この事業所では、居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援を行ってまいります。

開所よりひと月が経過し、4名のヘルパーの方が備前市において勤めております。

これから赤穂市、相生市、上郡町と順に事業を展開してまいります。

一人暮らしの方への食事、洗濯、掃除等をさせていただいております。又外出時のご支援をさせていただいております。より豊かな生活、また地域での自立した暮らしのお手伝いをさせていただきます。

若輩ではありますが若さを取り柄に力いっぱい業務に励んで参ります。何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新年、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

コロナ感染症も5類となったことから、令和5年度は、ばんたん運動会、夏祭り、バス旅行、わかば園祭りを行いました。ばんたん運動会では優勝し、夏祭りでは、関西福祉大学の学生の皆さま、ご家族様と共に輪投げ、ヨーヨー釣り等を童心にかえり楽しみました。またバス旅行では美味しい懐石料理に舌つづみし、遊園地ではアトラクションや買い物を楽しみました。わかば園祭りでは自治会、ご家族様と一緒にボランティアグループ「ドレミ」の皆さまによる音楽、ゲームを楽しみました。利用者様の笑顔が沢山見ることができ嬉しく思っております。

・就労継続支援 B 型では兵庫県からの発注作業（草刈）をいただき、新年度も参加予定としています。新年度は点字封筒づくりも沢山の注文を頂けるように、新しい取り組みも考えています。又体調等を考慮し、就労から生活介護に利用日数を少し移行し、その方に合ったサービスを提供させていただきます。就労作業の達成感、生活介護のリラックスできる空間とメリハリをつけて楽しんで過ごされています。

・生活介護では、体力づくりと気分転換のために毎日のウォーキングを行っています。「正月休みで体力が落ちました！」とご家庭からのお声をお聞きしたのですが、確かに初日のウォーキングは息を切らせておられ、毎日ゆっくりと歩いているのですが、積み重ねが大事だと改めて感じました。

今回、アンケートで外食をしたいとのご意見もいただいているので生活介護だけでなく、就労継続支援 B 型も外食の機会を設けます。今年度も、利用者様の笑顔、達成感を感じられるように職員一同力を合わせて努めて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



利用者様作品

あけましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧を賜り、ありがとうございました。

本年もよろしくお願ひ致します。

利用者様同士が楽しく、安全・安心して利用していただける様に、細心の注意を払いながら日々の業務を送っております。

また、新型コロナウイルス感染等、最新のウィルス防止対策として、換気、手指の消毒、うがい等行い、日々の生活を送っております。

一人一人の利用者様が楽しく過ごし今より少しでも満足してもらえるよう、それぞれに合った過ごし方を、より細やかに行えるように日々努力してまいります。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。保護者の皆様には、てくてくの活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

元旦に能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。あらためて、いつ起こるかかわからない災害に対して、備えの重要性を痛感します。防災意識を高め、安心して利用して頂けるよう職員一同努めてまいります。

さて、新年最初の活動は、初詣に出かけました。穏やかな毎日がおくれますように・・・と一人ひとりお参りしました。季節の活動「正月あそび」として、凧あげ・羽つき・福笑いを体験しました。凧あげでは、マジックで絵を書いたオリジナルの凧を作り、公園へ出掛けてあげました。凧があがる様子が楽しくて夢中になってたくさん走りまわりました。福笑いでは、できあがった顔を見て子どもたちの笑い声がプレイルームに響き渡りました。小グループの活動になりますが、クッキングを再開しています。いろいろな経験ができるような活動に取り組んでいきます。

インフルエンザなど感染症に気を付けて手洗いうがい・室内換気を徹底し元気に過ごせるよう努めてまいります。



凧あげ



福笑い



利用者様作品

新年のあいさつに先立ちまして、石川県能登半島地震において被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

改めまして、皆様あけましておめでとうございます。新たな年を迎え、皆様には健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は辰年という事で、辰というのは竜の事なのですが、十二支で唯一空想上の生き物となっております。竜というと、荒々しいとか力強い、勇ましいといったイメージで、変化や進展をもたらす象徴とされています。

グループホームファミリアも皆様のご理解、ご協力の元、現在7名の定員に対し7名の方にご利用いただいております。冒頭にも触れましたような災害への対策やコロナ禍等まだまだ問題はありますが、職員一同力を合わせ課題に取り組んでいく所存でございます。

今年の干支である辰にちなみ、登り竜のように力強く前進出来る様に努めて参ります。